

令和6年度 第6回 明生小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日時 令和 7年 2月 14日(金) 10:00 ~ 12:00

2 場所 会議室

3 あいさつ(委員長、学校長)

(委員長)

○もう少ししたら卒業式。皆様にはもうひと踏ん張りがんばってもらいたい。

(学校長)

○本日のメインは1年間のまとめとして、学校関係者評価の確認、承認をしていただくこと。

○(「学校だより」より)外部講師によるラグビー、走ること、サッカーの出前授業を行った。どの授業でも準備体操をしっかり行っていたことが印象的だった。ラグビーの授業では、いじめ防止の指導もしていただいた。5年生対象の第2回みえスタディチェックでは県平均を上回ったが、個々の状況を分析して、困り感のある子どもたちをしっかりと見ていかなければならない。同じく5年生対象の体力テストでは、運動能力や生活習慣について課題がいくつかあることが分かった。課題の解決に向けた取組を考えていかなければならない。バルーン体験は風のため延期が続き、4回目にしてやっと実施できた。子どもたちにぜひ体験させたいというボランティアさんたちの熱い思いが伝わってきた。もちつきや町づくりワークショップでもお世話になり、おかげで子どもたちは貴重な体験をすることができた。

4 協議内容

(1) 学校関係者評価について

○端末の活用について、いくつかご意見をいただいた。効果的な活用方法について更なる研修をしていく必要がある。

○長期欠席対策については、引き続き外部の協力も得ながら支援し、欠席者を減らしていきたい。これまで別室で過ごしていた子どもたちが、少しずつ教室に入って学習できるようになってきた。周りの子どもたちは特別視せず、自然に受け入れている。

○あいさつについては、普段から継続して取り組んでいきたい。

○子どもたちの「やりぬく力」を育てるために、子どもたちをよく観察してポイントを押さえていかなければならない。そのためには時間的な余裕が必要である。

○人権教育について、特に本校では多文化共生について大事にしていかなければならない。

(2) 令和6年度明生小学校学校アンケート(後期)の結果について

○「思ったことや考えたことを発表している」が大きくアップしたのは、先生たちが授業の中で工夫して、様々な仕掛けをしてくれているからだと思う。

○宿題や自主学習等の取組について、ポイントがダウンしている。ひとりで学習する力が弱くなっているのではないか。

○防災意識は子どもも保護者もアップしている。地震に対する備えができている。

○自分から進んであいさつをすることは、やはり課題だと思う。あいさつはコミュニケーションの第一歩。あいさつのできる人間になってほしい。大人が自分から先にあいさつをしなければいけない。登下校の見守りの時も、あいさつをされるとうれしいし気持ちがいい。

○年2回の学校アンケートの他にも様々なアンケートを行っている。結果を受けて取組を考えると、結果を活かしていくことが大切。

○学力面も体力面も生活面も、課題を探って解決策を見つけていきたい。

(3) 明生小学校地域協働活動委員会について

○通学時の見守りや校庭の除草、授業支援等の学校保全とボランティア活動について、現状把握をして、全部は無理だが、少しずつでも取り組んでいくことが大切。

○PTA、自治会とのタイアップを強化し、教育目標達成のための実行部隊として活動していきたい。行事についてもPTAや地域と協働して盛り上げていきたい。PTAにもっと積極的に関わってもらいたい。活動について知ってもらいたい。

5アドバイザーより

○今年度、明生小学校地域協働活動委員会が立ち上がったことは大きな成果。これほどしっかりと組織ができているのは、鈴鹿市では明生小だけ。先進的な例として、鈴鹿市に広めていきたい。

○PTA活動については、根気強く取り組んでいかなければならない。まずは話し合いに参加してもらうこと。対話をすることが大切。

○学校関係者評価について、「学力向上」についての項目で、ボランティアさんのことがあげられているところに明生小らしさを感じる。とてもありがたいことだと思う。

○不登校については鈍化してはいるが増える傾向にある。何とかして学びの保障をしていくことと、学校は楽しいところと感じられるような取組が必要。

○アンケートは活かすことが大切。現状を把握し、どう活かしていくか、ぜひ取組を考えてもらいたい。

○学校運営協議会の皆様には、明生小の子どもたちのために今まで頑張っていたきてきた。今後も引き続き、ご協力をお願いしたい。